

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社極楽湯 上場取引所 東
 コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川 隆文
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員管理部長 (氏名) 松本 俊二 (TEL) 03-5275-0580
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,203	△0.8	△196	—	△148	—	△102	—
25年3月期第3四半期	7,263	0.4	112	△34.7	167	1.2	111	177.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 24百万円(△80.5%) 25年3月期第3四半期 125百万円(159.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△10.55	—
25年3月期第3四半期	10.50	10.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,258	4,380	32.3
25年3月期	10,769	4,097	36.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,285百万円 25年3月期 3,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	7.8	260	△5.2	330	△12.7	160	39.6	16.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	11,645,000株	25年3月期	11,529,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	917,675株	25年3月期	1,937,675株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	9,678,654株	25年3月期3Q	10,591,325株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	11,645,000株	25年3月期	11,529,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	917,675株	25年3月期	1,937,675株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	9,678,654株	25年3月期3Q	10,591,325株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」への期待から緩やかに回復の兆しを見せている一方で、株価や為替の変動が激しい不安定な状況で推移しました。また、個人消費においては、堅調な動きが一部にみられるものの、所得や雇用の環境改善に伴うものとは言えず、物価上昇による消費マインドの低下や消費税率の引き上げ後の反動懸念など不透明な状況が続いております。

温浴業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向に対して安易なディスカウント策に走る運営会社が引き続き見られるなど、厳しい経営環境が続いております。また、エネルギーをはじめ原材料などのコスト増やお客様の多様なニーズへの対応など企業としての総合力が求められております。

このような状況の中、当社におきましては、平成25年7月に一部の店舗を除いて入館料金の値上げを実施いたしました。入館料金の値上げは、安易なディスカウント競争と一線を画し、より良いサービスを適切な価格で提供することで、お客様の満足度をより一層高めることに加え、企業として適切な収益を継続的に獲得し、更なるサービスの向上につなげていくために必要であるとの考えによるものであります。

目的の実現に向けて、引き続きお客様に安心かつ安全に利用していただくための適正な衛生管理や設備管理の徹底に加え、お客様の来店頻度や店舗内施設利用頻度の向上を図るための“心からのおもてなし”によるサービス向上に努めてまいりました。また、お客様のニーズを的確にとらえることに加え、新しい発想に基づく施策の実施や、メール会員制度などの訴求ツールの一層の活用による効果的な販促強化にも積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、水道光熱費の増大に伴い平成25年7月に入館料の値上げを実施したことや割引券等の発行を抑制したことによる来店客数の減少を、現時点において顧客単価の上昇やコスト削減等でカバーするまでには至っておりません。

海外事業におきましては、平成25年2月に海外1号店として中国上海市に開業した「極楽湯 碧雲温泉館」は、出店費用が先行する状況にあるものの、現地のレジャー施設 約2万社の中でトップの評価をいただくなど、お客様から高い支持を得ております。

福島店につきましては、平成25年4月より運営を直営からフランチャイズに変更いたしました。

堺泉北店につきましては、男子釜風呂の天井落下事故により2ヶ月余り営業を休止しておりましたが、改修工事が完了し平成25年4月下旬より営業を再開しております。

また、平成25年6月に判明した当社フランチャイズ加盟企業（関西）による過去の下水道使用量の過少申告の件につきましては、現在加盟企業において調査が進められておりますが、引き続きフランチャイズ本部として加盟企業に対するコンプライアンスの指導の徹底を図っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高7,203百万円（前年同期比0.8%減）となりました。損益面につきましては、上海店の出店費用や改修工事費などの発生により営業損失196百万円（前年同期営業利益112百万円）、経常損失148百万円（前年同期経常利益167百万円）、四半期純損失102百万円（前年同期四半期純利益111百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,488百万円増加し13,258百万円となりました。これは主に、新規出店に関する建築代金を調達したこと並びに碧雲温泉館（上

海)の工事完成によるものであります。具体的には、現金及び預金が1,654百万円増加し、建設仮勘定が新規出店に伴い増加したものの碧雲温泉館が完成したことによる勘定科目の振替えで572百万円減少し、建物及び構築物(純額)が1,255百万円増加しました。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,205百万円増加し8,877百万円となりました。これは主に、新規出店に関する建築代金を金融機関から借入したことによるものであります。具体的には、長期借入金が2,583百万円増加しました。その他には、短期借入金が500百万円減少し、未払法人税等が182百万円減少しました。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ283百万円増加し4,380百万円となりました。これは主に、自己株式の処分等により株主資本が232百万円増加し、為替換算調整勘定が124百万円増加したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、32.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月15日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,137,834	3,791,981
売掛金	87,632	81,764
未収入金	59,683	1,717
たな卸資産	26,781	49,242
繰延税金資産	50,796	25,460
その他	126,705	233,111
流動資産合計	2,489,432	4,183,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,793,448	6,048,554
工具、器具及び備品(純額)	119,644	210,383
リース資産(純額)	9,549	5,770
土地	182,051	182,051
建設仮勘定	1,189,634	616,887
有形固定資産合計	6,294,327	7,063,647
無形固定資産		
その他	74,337	74,951
無形固定資産合計	74,337	74,951
投資その他の資産		
投資有価証券	74,075	28,040
長期貸付金	110,087	98,246
繰延税金資産	394,393	422,406
敷金及び保証金	745,392	825,437
その他	592,395	566,536
貸倒引当金	△5,000	△4,500
投資その他の資産合計	1,911,344	1,936,166
固定資産合計	8,280,010	9,074,765
資産合計	10,769,443	13,258,043

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	254,519	279,179
短期借入金	500,000	—
1年内償還予定の社債	130,800	145,800
1年内返済予定の長期借入金	1,668,100	2,062,088
未払金	309,536	280,191
未払法人税等	194,082	11,796
賞与引当金	48,904	26,181
その他	809,419	853,725
流動負債合計	3,915,362	3,658,962
固定負債		
社債	133,200	400,800
長期借入金	2,040,000	4,229,650
退職給付引当金	78,989	85,764
資産除去債務	353,327	357,553
その他	151,160	144,687
固定負債合計	2,756,677	5,218,455
負債合計	6,672,039	8,877,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,032,626	2,048,289
資本剰余金	2,179,226	2,159,189
利益剰余金	389,262	229,641
自己株式	△752,918	△356,138
株主資本合計	3,848,196	4,080,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,765	△1,909
為替換算調整勘定	82,073	206,733
その他の包括利益累計額合計	78,308	204,824
新株予約権	170,898	94,818
純資産合計	4,097,403	4,380,625
負債純資産合計	10,769,443	13,258,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,263,149	7,203,189
売上原価	6,606,776	6,808,948
売上総利益	656,372	394,241
販売費及び一般管理費	544,084	590,428
営業利益又は営業損失 (△)	112,288	△196,186
営業外収益		
受取利息	7,591	7,640
受取家賃	14,068	14,271
為替差益	—	49,366
協賛金収入	95,871	24,571
その他	19,128	19,382
営業外収益合計	136,659	115,232
営業外費用		
支払利息	53,031	61,745
その他	28,261	5,609
営業外費用合計	81,293	67,355
経常利益又は経常損失 (△)	167,654	△148,309
特別利益		
新株予約権戻入益	49,447	81,356
その他	—	29
特別利益合計	49,447	81,386
特別損失		
固定資産除却損	—	6,938
その他	—	48
特別損失合計	—	6,986
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	217,101	△73,909
法人税、住民税及び事業税	115,491	32,003
法人税等調整額	△9,589	△3,840
法人税等合計	105,901	28,162
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	111,199	△102,072
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	111,199	△102,072

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	111,199	△102,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,599	1,855
為替換算調整勘定	8,242	124,660
その他の包括利益合計	13,841	126,515
四半期包括利益	125,041	24,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,041	24,442
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による払込に伴い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ15,663千円増加しております。また、第三者割当による自己株式の処分に伴い、自己株式が396,780千円減少し、資本剰余金が35,700千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,048,289千円、資本剰余金が2,159,189千円、自己株式が356,138千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当社グループの事業は、温浴事業ならびにこれらの付帯事業の単一事業であります。したがって、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,717,690	485,499	7,203,189	—	7,203,189
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,647	—	26,647	△26,647	—
計	6,744,338	485,499	7,229,837	△26,647	7,203,189
セグメント利益又は損失 (△)	188,474	△219,369	△30,894	△165,291	△196,186

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去△26,647千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△138,644千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの事業は、温浴事業ならびにこれらの付帯事業の単一事業であります。第1四半期連結会計期間から、中国上海市にて「極楽湯 碧雲温泉館」の営業が開始し、当該店舗を事業セグメントとして認識するに至ったため、報告セグメントを「日本」及び「中国」の2つに変更しております。なお、極楽湯(上海)沐浴有限公司の決算日は12月31日であるため、当第3四半期連結累計期間には、同社の平成25年1月1日から平成25年9月30日までの業績が反映されております。

また当第3四半期連結会計期間からセグメント利益又は損失の調整額に含める全社費用項目の見直しを行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。